

様式第23号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市六番町2-5
協議会名	番町地区まちづくり協議会
協議会長名	会長 中村勝美

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）  
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 52 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 562,410 円  
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
769,000	562,410		206,590

2 交付金が減額変更になった理由

コロナウイルスの影響により減額

【添付書類】

- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書  
(様式第25号又は様式第25号の1)
- 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 番町地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	花いっぱいプロジェクト
前年からの繰越金	なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	花には「人の心を和ませる」心理的効果があるといわれている。番町の地区の皆様には花を植える、花を育てることにより穏やかな生活を送って頂くことや地域の美化にも努め、ポイ捨て等をなくすことともに、地域住民の心の潤いを持たせることを目的としている。また番町地区は2号線が通り、公共施設、商業施設、会社事務所などがあり、笠岡市を代表する地域である。外部から番町地区に来ている人も多く、番町地区の花を見ることによる環境美化は笠岡のイメージアップにも大きく貢献できることを目的としている。
【効果】	各世帯で植物を育てることにより「成長」を学び、充実感が得られる効果。花を通じて、優しさ、喜び、感動を体感できる効果。地域事業に貢献している実感を持つ効果。就労継続支援B型事業を営む社会福祉法人敬業会ビレッジ興産さんから花苗を購入することによる社会的貢献ができる効果。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

番町地区一円

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 1100 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 25 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 1075 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 町内会 ， （団体名） 各地区環境委員  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

花壇の整備。昭和62年度に設置（番町コミュニティ推進協議会）している花壇に、夏、冬、と花を植え替え、水やり等維持管理する。番町地区内の持ち家世帯に花を配布して、各自管理する。  
 実施日時：6月下旬に夏花花壇植え、7月上旬に前戸花う植え、12月中旬に冬花花壇植えをする。

6 決算額

206,530 円（うち交付金分 206,530 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	地区住民および地区内の団体が一体となって、花壇に管理をおこない、美化に努めた。
【課題】	活動の周知のため、活動内容の広報に取り組みたい。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 番町地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	花いっぱいプロジェクト

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 207,000	206,530	470	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	207,000	206,530	470	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	207,000	206,530	470	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	207,000	206,530	470	決算額のうち市交付金分 ② 206,530

市交付金の余剰金 ①-② 470 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 470 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 花いっぱいプロジェクト

費目 需用費 消耗品費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	29	ヴィレッジ興産	ポーチュラカ	50,380	50,380
2	4	7	20	ヴィレッジ興産	ポーチュラカ	81,730	132,110
3	4	12	8	ユーホー	セルカ	1,060	133,170
4	4	12	12	ユーホー	腐葉土	13,080	146,250
5	5	2	10	ヴィレッジ興産	パンジービオラ	60,280	206,530
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						206,530	

## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	番町地区まちづくり協議会
活動名	花いっぱいプロジェクト

活動目的	花には「人の心を和ませる」心理的効果があるといわれている。番町の地区の皆様には花を植える、花を育てることにより穏やかな生活を送って頂くことや地域の美化にも努め、ポイ捨て等をなくすことともに、地域住民の心の潤いを果たせることを目的としている。また番町地区は2号線が通り、公共施設、商業施設、会社事務所などがあり、笠岡市を代表する地域である。外部から番町地区に来ている人も多く、番町地区の花を見ることによる環境美化は笠岡のイメージアップにも大きく貢献できることを目的としている。
実施内容	花壇の整備。昭和62年度に設置（番町コミュニティ推進協議会）している花壇に、夏、冬、と花を植え替え、水やり等維持管理する。番町地区内の持ち家世帯に花を配布して、各自管理する。 実施日時：6月下旬に夏花花壇植え、7月上旬に前戸花う植え、12月中旬に冬花花壇植えをする。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 地区住民および地区内の団体が一体となって、花壇に管理をおこない、美化に努めた。	現状と課題 活動の周知のため、活動内容の広報に取り組みたい。
--	-----------------------------------

## 今後の活動の方向性・改善策

広報にあたりSNSを積極的に利用していく。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 番町まちづくり協議会

活動No	2
活動名	健康増進活動
前年からの繰越金	なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	参加者の心身機能の維持向上や地区民の交流の場としてつなげていくこと
【効果】	敬老会や秋祭りなど地区民の交流の場に意欲的に参加してもらえるようになること

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

番町コミュニティハウス

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 70 人（ア+イ）  
 (内訳) 企画運営に関わった人数： 50 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 20 人（イ）  
 ○団体： (団体名) 番町地区まちづくり協議会 , (団体名)   
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

毎週火曜日に地区民の交流の場として講師を招いてストレッチを行う。  
 会場：番町コミュニティハウス 1回2時間

6 決算額

10,050 円（うち交付金分 10,050 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	高齢者の参加者が多く、地域交流の場となっている。
【課題】	平日の日中に行っているため、若い人の参加は現状では難しいそうだが、曜日、時間帯を工夫し、広報活動を行うことにより来年度以降若い人の参加を呼びかけていきたい。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 番町まちづくり協議会

活動No	2
活動名	健康増進活動

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 210,000	10,050	199,950	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	210,000	10,050	199,950	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	150,000	0	150,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	60,000	10,050	49,950	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	210,000	10,050	199,950	決算額のうち市交付金分 ② 10,050

市交付金の余剰金 ①-② 199,950 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 199,950 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 健康増進活動

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	27	番町コミュニティ推進委員会	コミュニティハウス使用料	3,000	3,000
2	5	3	27	番町コミュニティ推進委員会	コミュニティハウス使用料	7,050	10,050
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						10,050	



## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	番町まちづくり協議会
活動名	健康増進活動

活動目的	参加者の心身機能の維持向上や地区民の交流の場としてつなげていくこと
実施内容	毎週火曜日に地区民の交流の場として講師を招いてストレッチを行う。 会場：番町コミュニティハウス 1回2時間

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 高齢者の参加者が多く、地域交流の場となっている。	<b>現状と課題</b> 平日の日中に行っているため、若い人の参加は現状では難しいそうだが、曜日、時間帯を工夫し、広報活動を行うことにより来年度以降若い人の参加を呼びかけていきたい。
--	--

## 今後の活動の方向性・改善策

曜日、時間帯の工夫により若年層にも参加を呼び掛けたい。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 番町まちづくり協議会

活動No	3
活動名	おとなの習いごと
前年からの繰越金	なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地域の大人たちが集まり、習いごとを通して地域住民の連帯感、一体感を得られ、まちづくり活動、自主防災、見守り活動などが有意義に活動でき、誰もが暮らしやすい地域になることを目的とする。
【効果】	地域のつながりが薄いといわれる番町地区で、参加者みんなが顔見知りになることにより、様々な難題をスムーズに解決。町内会、番町地区コミュニティー推進協議会などに積極的に参加しやすくなる効果。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 〇 年中 〇 年目)

3 実施場所

番町地区コミュニティハウス他

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 580 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 20 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 560 人（イ）  
 ○団体： (団体名) 番町内の町内会, (団体名)   
 (団体名), (団体名)

5 実施内容

デイトタイム(平日午後2時間)は仕事をリタイヤした年代を対象に20回行う。コロナのワクチン接種について、スマホ教室(ペイペイ支払の仕方)LINEで回覧版の賛否両論会など身近な話題と、手作りハーバリウム教室、笠岡の十名山ハイキング、茶道教室、書道教室など興味を引くような講座を盛り見込む。ナイトタイムは土曜日夜に現役世代対象に9回行う。体験だけのテニス、ゴルフ教室、プチ習字教室、韓国語講座周期を1クール3回で行う。

6 決算額

38,700 円 (うち交付金分 38,700 円)

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	今年度からのイベントだったが参加者からとても好評で、ハイキング、スマホ教室等地域交流の場としても活躍した。。
【課題】	開催を回覧板で周知したが、知らなかったという住民もあり、全戸にチラシを配布する等の広報に力を入れていきたい。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 番町まちづくり協議会

活動No	3
活動名	おとなの習いごと

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 43,000	38,700	4,300	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	43,000	38,700	4,300	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		24,000	△ 24,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	7,000	0	7,000	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	36,000	14,700	21,300	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	43,000	38,700	4,300	決算額のうち市交付金分 ② 38,700

市交付金の余剰金 ①-② 4,300 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③                      円 返還額 ④                      4,300 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分	活動交付金
活動名	おとなの習いごと
費目	報償費
No.	1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	27	番町コミュニティ推進委員会	講師料	24,000	24,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						24,000	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 おとなの習いごと

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	3	27	番町コミュニティ推進委員会	コミュニティハウス使用料(25回分)	14,700	14,700
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						14,700	

## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	番町まちづくり協議会
活動名	おとなの習いごと

活動目的	地域の大人たちが集まり、習いごとを通して地域住民の連帯感、一体感を得られ、まちづくり活動、自主防災、見守り活動などが有意義に活動でき、誰もが暮らしやすい地域になることを目的とする。
実施内容	デイトタイム(平日午後2時間)は仕事をリタイヤした年代を対象に20回行う。コロナのワクチン接種について、スマホ教室(ペイペイ支払の仕方)LINEで回覧版の賛否両論会など身近な話題と、手作りハーバリウム教室、笠岡の十名山ハイキング、茶道教室、書道教室など興味を引くような講座を盛り見込む。ナイトタイムは土曜日夜に現役世代対象に9回行う。体験だけのテニス、ゴルフ教室、プチ習字教室、韓国語講座周期を1クール3回で行う。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
今年度からのイベントだったが参加者からとても好評で、ハイキング、スマホ教室等地域交流の場としても活躍した。	開催を回覧板で周知したが、知らなかったという住民もおり、全戸にチラシを配布する等の広報に力を入れていきたい。

## 今後の活動の方向性・改善策

全戸にチラシの配布、SNSでの拡散を行う。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 番町地区まちづくり協議会

活動No	4
活動名	第48回番町ふれあい夏祭り
前年からの繰越金	なし

## 1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	番町地区内の住民、各種団体の世代を超えたふれあいを目的とする。 この1年間にお亡くなりになった番町地区の故人を供養することを目的とする。 新番町音頭を普及することを目的とする。
【効果】	多くの地域の方が参加することにより、まちづくり協議会の活動に理解を深め、他のまちづくりの事業に積極的な参加が見込まれること、より地域の結びつきができることを期待している。

## 2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
(計画期間 年中 年目)

## 3 実施場所

笠岡市民会館、番町コミュニティハウス

## 4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 850 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 100 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 750 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 番町コミュニティ推進協議会 ， （団体名） 町内会  
 （団体名） 番町商店会 ， （団体名） 消防団、婦人防火クラブ

## 5 実施内容

毎年恒例であった番町夏祭りを、4年ぶりに番町地区コミュニティ推進協議会と共催で開催する。8月に夏祭りを、12月に冬まつりを開催する。実行委員会、新番町音頭の練習など入念な準備をし本番を迎える。町内全域、小学校、こども園などにパンフレットを配り多くの来場者に来ていただく予定である。

## 6 決算額

307,130 円（うち交付金分 307,130 円）

## 7 活動実施による成果及び課題

【成果】	8月に予定通り開催とはいかず、規模を縮小しコンパクトな開催となったが、多くの参加者が訪れた。若者から高齢者まで幅広い層が参加した。
【課題】	コロナウイルスの対策をしっかりと行い、予定通りの開催を行いたい。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 番町地区まちづくり協議会

活動No	4
活動名	第48回番町ふれあい夏祭り

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 309,000	307,130	1,870	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	309,000	307,130	1,870	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	20,000	0	20,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	54,000	280,910	△ 226,910	〃
役務費	3,000	0	3,000	〃
使用料及び賃借料	30,000	26,220	3,780	〃
備品購入費		0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
委託料	202,000	0	202,000	
			0	
計	309,000	307,130	1,870	決算額のうち市交付金分 ② 307,130

市交付金の余剰金 ①-② 1,870 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 1,870 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 第48回番町ふれあい夏祭り

費目 需用費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘要	支出額	支出累計
1	4	7	20	amazon	花火代	10,800	10,800
2	4	7	20	amazon	花火代	8,800	19,600
3	4	7	20	amazon	花火代	6,160	25,760
4	4	10	4	鈴木泉	PA代	80,000	105,760
5	4	10	14	富士火工	導火線	3,300	109,060
6	4	10	25	有限株式会社内藤電設	リース代	80,550	189,610
7	4	10	25	有限株式会社内藤電設	電気設備委託	91,300	280,910
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小計						280,910	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 第48回番町ふれあい夏祭り

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	16	笠岡市民会館	会場使用料	7,400	7,400
2	4	6	16	笠岡市民会館	会場使用料	1,300	8,700
3	4	6	16	笠岡市民会館	会場使用料	900	9,600
4	4	6	16	笠岡市民会館	会場使用料	2,880	12,480
5	4	6	16	笠岡市民会館	会場使用料	2,880	15,360
6	4	6	16	笠岡市民会館	会場使用料	10,860	26,220
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						26,220	

## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 4

協議会名	番町地区まちづくり協議会
活動名	第48回番町ふれあい夏祭り

活動目的	番町地区内の住民、各種団体の世代を超えたふれあいを目的とする。 この1年間にお亡くなりになった番町地区の故人を供養することを目的とする。 新番町音頭を普及することを目的とする。
実施内容	毎年恒例であった番町夏祭りを、4年ぶりに番町地区コミュニティ推進協議会と共催で開催する。8月に夏祭りを、12月に冬まつりを開催する。実行委員会、新番町音頭の練習など入念な準備をし本番を迎える。町内全域、小学校、こども園などにパンフレットを配り多くの来場者に来ていただく予定である。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
8月に予定通り開催とはいかず、規模を縮小しコンパクトな開催となったが、多くの参加者が訪れた。若者から高齢者まで幅広い層が参加した。	コロナウイルスの対策をしっかりと行い、予定通りの開催を行いたい。

## 今後の活動の方向性・改善策

コロナウイルスに気を付けながら多くの人が参加できるイベントとしたい。